

ポーランド社の養蜂器具 秋田屋本店が輸入販売

養蜂・食品製造の秋田屋本店(岐阜市加納富士町、中村源次郎社長)は、ポーランドの養蜂器具メーカー、LYSON(ライソン、クラクフ市)の養蜂器具の輸入販売を始める。従来品用とは別に専用カタログを作成。21、22日に愛媛県で



輸入販売を始めるライソンの養蜂器具＝岐阜市加納城南通、秋田屋本店城南事業所

開かれる全国養蜂青年大会で紹介して本格的に展開する。養蜂器具は技術者の高齢化で国内製造が困難になっている。将来を見据え、ライソン製品の輸入販売に乗り出すことにした。ライソン製品を取り扱うのは国内で2社目。

欧州では養蜂業の歴史が長く、養蜂器具の技術も世界でトップクラス。ハチミツをかき混ぜた「クリームハチミツ」を作る器具や、30〜50度の熱を加えてハチミツをさらさらの状態にして瓶詰めしやすくするタンクなど日本ではまだ一般的ではない器具もある。巢からハチミツだけを取り出す遠心分離器やタンク、煙でハチをおとなしくさせる燻煙器など日本でも一般的に使われる器具に加え、こうした器具も日本で販売する。

専用カタログには従来品のカタログの2割に当たる約80アイテムを掲載。6月をめどに100アイテムをそろえ、順次養蜂家のニーズを聞きながら取扱品目を増やす。